



今月の表紙

小学校入学式



4月10日(木)、前日に中学校と一緒に入学式を行った中宮祠・小来川・湯西川小学校と、新入生がいなかった小百・川治小学校を除く、市内の23の小学校で入学式が行われました。

栗山小学校の新入生は2人。表紙の写真の手塚帆南ちゃん・由基くんの双子の姉弟です。小学校での初日を迎えた2人は、校長先生からの「栗山小学校の先生やお兄さん、お姉さんは、2人が入学するのをとても楽しみにしていました。楽しい行事がたくさんあるので、みんなと仲良く学校生活を送りましょう」との言葉に、元気良く「はい」と返事をしていました。また、下原小学校には48人が入学しました。式では、上級生からお祝いの言葉が贈られました。新入生たちは、改まった式に少し緊張している様子でしたが、嬉しそうな笑顔も見られました。

なお、日光市では今年度、26校に合計759人の児童が入学しました。



下原小学校入学式の様子。校長先生の話も来賓の方からの祝辞も、静かにきちんと聞いていました。



①優勝した高橋さん。②特別賞の大藤さん。③水越さん親子。

そばのまち日光に春を告げる、全日本手打ちそば早食い選手権が、3月23日(日)、今市宿市縁ひろばで行われました。今回で13回目を迎えるこの大会、県内外から参加した3歳から67歳までの100人が、もりそば3枚分(60g)を完食する時間を競いました。

大きなリアクションで場を盛り上げ、特別賞を受けた大藤佑太さん(所野)は、今回初めての参加。

「簡単だと思ったのですが、いざとなると食べられませんでした」と話してくれました。また、宇都宮市の水越進矢さん・美蘭ちゃん(親子)で参加。「3回目ですが、今年もだめでした。皆さんすごいですね」と残念そうでしたが、終わった後は美蘭ちゃんが残したそばを親子で仲良く食べていました。大会は、並みいる男性陣を押しつけて、高橋美桜さん(新潟県新潟市)が女性として初めて一般の部で優勝しました。

全日本手打ちそば早食い選手権

杉並木大学校卒業作品展・卒業式



3月12日(水)から16日(日)まで、杉並木公園ギャラリーにおいて杉並木大学校卒業作品展が開かれ、27日(木)には中央公民館で卒業式が挙行されました。

作品展では、2年間にわたる学習の成果が表れた素晴らしい作品が数多く展示されました。

杉並木大学校は、60歳以上の方に学習の場を提供するため、昭和62年に開設し、現在までに898名が卒業しています。今年度は、写真講座、水彩画講座、陶芸講座、料理講座、書道講座、版画講座の6講座37名が卒業しました。

卒業式終了後、皆勤賞を授与された写真講座の岡本邦彦(木和田島)さんは、「入学するときから皆勤賞を目指していました。目標が達成できてとても満足しています」とのこと。また、今年度で退任する森山良一校長は、「歴史ある杉並木大学校をこれからも続けてほしい」と話してくれました。



男女共同参画都市宣言記念事業

3月15日(土)、今市文化会館で男女共同参画都市宣言記念事業が開催されました。

式典では、宣言文の発表やポスター・キャッチフレーズ入賞者の表彰などが行われました。また、内閣府と男女共同参画プラン策定委員会からの活動報告や発表の際には、メモを取りながら熱心に聞き入っている方も見られました。



講演を行う住田弁護士。

そして、テレビにも出演されて



声を合わせ、宣言文を読み上げました。

いる弁護士住田裕子さんによる「一人ひとりが輝こう：私の個性もあなたの個性も」と題した講演が行われ、ユーモア溢れる話に会場から笑いが起こる場面もありました。講演の最後にはサイン色紙のプレゼント抽選会も行われ、式典は終始和やかな雰囲気の中で幕を閉じました。

産業遺産研究シンポジウム

3月22日(土)に銅やまなみ館で行われた、宇都宮大学特定重点推進事業シンポジウム。宇都宮大学による足尾地域の産業遺産の保全と活用に関する研究の一環として開催されました。

最初に、小風秀雅氏(お茶の水女子大学大学院教授)による「産業遺産の価値とはなにか」と題した基調講演が行われました。小風氏は、市の足尾銅山世界遺産登録検討委員を兼ねており、講演の中で



「世界遺産への登録を足尾銅山が目指す場合、コンセプトとして公害史・公害対策史的な意味が柱の一つだが、まだ不十分」と、これからの課題を話しました。

その後、宇都宮大学の教授3名による特定重点推進研究の発表が行われ、最後に「産業遺産の持続的活用(保全と活用)」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。



各パネラーから活発な意見が出された、パネルディスカッションの様子。

企業立地促進法に基づく基本計画の同意書交付式

3月25日(火)、経済産業大臣から日光市長へ日光地域産業活性化基本計画の同意書が交付されました。この計画は、企業立地の基本として、県や市、商工会議所、宇都宮大学などで設立された協議会においてまとめられました。



大臣と握手する斎藤市長。

国の同意が得られたことにより、今後この計画に基づいて立地する企業は、国からの税の軽減措置や人材育成などの各種支援措置を受けることができます。

日光彫教室受講者作品展

3月29日(土)・30日(日)、木彫りの里工芸センターで日光彫教室受講者作品展が行われました。

会場には初心者・経験者・夜間の3つのコースの作品を展示。出品者の滝田智子さん(小佐越)は、「合併を期に、市の講座で約20年ぶりに日光彫を再開しました。くず箱として作ったけど飾っておこうかしら。これからでもできる限り日光彫を続けていきたいです」と話してくれました。



滝田さんの素晴らしい作品。



JR文挾駅東口開設

【3/15・今市】

JR文挾駅で、東口駅舎開設式が行われました。この東口駅舎が完成したことで、駅東側の生活利便性が向上し、地域の経済が発展することが期待されます。

今後は、駅東・西広場や公園、駐輪場、駅に接する市道などを整備し、JR文挾駅を落合地区の交通拠点として活用していく予定です。



文・写真：建設課

障がい者スポーツ教室を開催

【3/26・今市】

栃木県障害者スポーツ協会の協力を得て、フライングディスクゴルフ教室を日光だいや川公園で開催しました。

参加者は、専用のゴールに狙いを定めて、真剣にディスクを投げていました。風の影響で、思いもよらない方向にディスクが飛んでいくこともありましたが、見事ゴールが決まると会場からは歓声が上がりました。



文・写真：厚生福祉課

広報モニター会議

【3/26】

広報モニターとは、市が発行する広報紙への意見や提案などを、アンケート形式で回答していただいている方々です。会議では、広報紙に対する意見交換などを行い、最後に広報紙の作成方法を説明しました。モニターの方は、「限られた紙面により多くの情報の伝達に取り組んでいくことを知りました」と話してくれました。



文・写真：秘書広報課

移送サービス用車両購入

【3/27・今市】

市では、元「割烹こい」との濱中恒明さん・京子さんご夫妻(今市本町)から寄附をいただき、福祉車両を購入しました。

購入車両は、助手席が電動で回転・昇降するリフトアップシートを装備しており、一人暮らしの高齢者などの移動支援を行う「移送サービス」で有効に活用していきます。



文・写真：厚生福祉課

湯西川診療所落成式

【3/29・栗山】

新築工事が完了し、落成式が行われました。完成した診療所は、湯西川地区の自然と景観に合った木造平屋建て待合室の天井を高くして開放感を与えるようにしました。これからも、地域住民の健康管理の拠点として、また、湯西川温泉を訪れる観光客の救急医療にも対応できる医療施設として、運営を行っていきます。



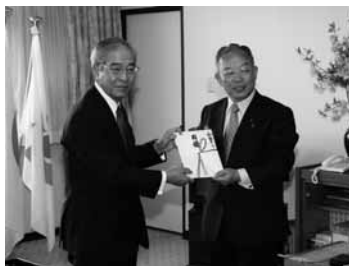
文・写真：栗山総合支所健康福祉課

足尾地域振興のために寄付

【3/31】

このたび、古河機械金属(株)より、足尾地域の振興・活性化を目的に5千万円の寄付をいただきました。写真は目録贈呈の様子です。

この寄付は、同社と足尾地域における長い歴史と信頼関係からなされたものであり、今後は、足尾地域の振興を目的とした事業の財源として活用されることとなります。



文・写真：総合政策課

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載のこと)

○写真：紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きすぎた際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先 〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係 Eメールアドレス hishokouhou@city.niiko.lg.jp